植物検疫における輸入解禁要請に関する検証の手続の進捗状況について

南アフリカ共和国産ハス種アボカド生果実の輸入解禁要請については、チチュウカイミバエを対象とする検疫措置の現地確認調査を実施済みであるところ（2016年3月17日、通商公示参照）、その後、ミカンコミバエを対象とする検疫措置の現地確認試験を新たに実施しました。今般、当該試験に関する報告書を南アフリカ共和国側から接受し、その内容を検証した結果は以下のとおりですので、お知らせします。

1. 要請国

南アフリカ共和国

2. 接受日

令和4年10月3日

3. 輸入解禁要請植物

アボカドの生果実

4. 主な対象検疫有害動物

ミカンコミバエ

5. 現地確認試験の結果の概要

南アフリカ共和国から提案された検疫措置（低温処理）について、昨年9月に日本の専門家が現地へ出向き、その有効性に問題がないかを同国が実施した低温処理試験に立ち会うことにより確認した。その結果、当該措置が実施されれば、ミカンコミバエが南アフリカ共和国産ハス種アボカドを経由して日本に侵入する恐れは無視できる程度であると判断した。

6. 今後の手続き

パブリックコメントの募集及び公聴会の開催

7. 問い合わせ先

農林水産省消費・安全局植物防疫課

東京都千代田区霞が関1-2-1

TEL 03-3502-5978（内線 4565）